

を推し進めたい。

○ふるさと納税関係経費

取り組みの内容については、全国の皆様に見ていただけるよう、PR効果の高い民間ポータルサイトを利用するほか、寄附者の利便性を向上させるため、クレジットカードでの納付を可能とする仕組みを整備する。

返礼品は、海産物や水産加工品のほか、農畜産物やスイーツなど幅広く取りそろえることを予定しているほか、観光関連商品や市立函館病院の人間ドックなどについても導入に向けて検討を進めている。

本市の地場産品を返礼品として市が購入し、全国へ発信することとなることから、地域経済への波及効果が期待できるものと考えている。

○フッ化物洗口関係経費

フッ化物洗口の実施にあたっては、学校規模により実施するうえでの課題が異なることが予想されるため、学校歯科医や学校薬剤師、渡島保健所など、関係者の協力を得ながら、規模別に選定した、亀田・弥生・臼尻小学校の3校で試行実施をする中で、実施運用上の課題を把握するとともに、安全かつ効果的に継続実施するための方法についても検証する。

また、実施に先立って、フッ化物洗口の効果と安全性、実施方法などについて、学校説明会や保護者説明会を開催するほか、保護者への実施希望調査を行う。

委員間の協議

議案第1号

地方交付税等の減などにより、財源不足が見込まれた厳しい予算であると認識しているが、今後の交付税の決定状況など、国の動向を見極めるとともに、「財政の中期的な見通し」を見直していくということなどで、反対する理由はない。

4年ぶりに基金を取り崩し、大変厳しい財政状況の中での予算編成であるが、必要な事業は継続され、市民から望まれる新たな事業についても組み込まれており、評価できる。

議案第34号 函館市競輪事業施設整備基金条例の制定について

今後、施設の大規模改修が見込まれ、そのために必要な基金でもあるので、確実性をもって運用してほしい。

今後の施設改修にしっかりと対応できる基金の造成ができるような競輪事業を行っていく必要がある。などの理由で賛成。

経済建設分科会

議案22件を審査

主な論点・疑問点等

議案第1号 平成29年度函館市一般会計予算(経済建設分科会関係部分)

○グリーンプラザ整備事業費

函館駅前・大門地区の回遊性が高まる起点となり、日常的に様々な人

が行き交う、にぎわいある都市空間を形成する事業であるかという観点から、

・整備の内容

○食の産業化推進費
・事業の内容、効果
○はこだてみらい館・はこだてキット
・課題と今後の運営

主な理事者の説明

○グリーンプラザ整備事業費

整備後のにぎわいづくりなどに反映させるため、ガーデニング講座の開催等、社会実験を行いながら、基本設計、実施設計を行うこととしており、市民や観光客が気軽に楽しめる場づくりから、地域のまちづくりの発信基地となるような取り組みに発展することを期待し、整備していきたい。

またイベント会場としても市民に親しまれていることから、市民から要望があった箇所についても、シンブルだがデザイン性を考慮した整備を行いたい。

商店街とも協力し、どうやって地域に人を呼ぶか、一緒に考えていかなければならないと思っており、市民に愛され、それによって観光客にも来てもらえるグリーンプラザを目指したい。

○食の産業化推進費

函館の食の魅力さをさらに底上げ

し、国内外から多くの人が訪れるグルメのまち、美食のまちを目指す「食の産業化」の取り組みについては、平成29年度から、函館の食の魅力の底上げ、人をひきつける仕掛け、市民意識の向上、地場産品のブランド力向上、販路拡大と情報発信という5つの柱のもと、様々な取り組みを本格化させていくこととしている。

はこだて美食フェスタはその一環として、来場される方々に様々な魅力の食の魅力をPRするために開催するものであり、効果として、人をひきつける仕掛けの一つになるとともに、地元食材に対する市民意識の向上、食の魅力の底上げにもつながるものと考えている。

平成29年度の開催にあたっては、今年度のイベント開催における御意見も踏まえ、市民および観光客がより参加しやすいイベントとなるよう努めてまいりたいと考えている。

○はこだてみらい館・はこだてキット
ズブラザ関係経費

はこだてみらい館は、学校の冬休み期間や土曜日・日曜日に開催されるワークショップは人気があり、一定の入館者数を確保しているが、平日は、ターゲットとなる観光客や修学旅行、学校の研修などでの利用が、まだまだ少ない。

これまで行ってきた観光情報誌への掲載や旅行代理店へのプロモーション、近隣の教育委員会への周知